

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）



公表： 令和4年 6月 24日 事業所名 ウォルト

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	2	1	・指定基準以上のスペースは確保できている ・狭いスペースでも出来る運動を取り入れていく ・場所を区切りながら活動を実施している。	
	2 職員の配置数は適切である	4			・基準を超えた配置をしています	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			・段差のないフラットな建物となっている	
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4			・毎日のミーティングにてスタッフ全員で情報の共有、振り返り、今後の対応の確認を行っている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		・評価表を全保護者様に配付し、調査を依頼実施しています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	2			・新規事業所の為今回が初の評価です
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1		1		・現在行っておりません ・今後検討していきます
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1		・専門職スタッフによる勉強会を毎週開催	・今後も定期的な勉強会を開催予定です	
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			・保護者への聞き取りを行い、ニーズに合った計画書を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1			・言語聴覚士、理学療法士、作業療法士が作成したオリジナルのツールを使用しています
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4			・毎日児童に合わせたプログラムを作成の為に話し合いができています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			・個々に合った課題を考え日々プログラムの変更を行っている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1			・休日、平日の区別なく毎回課題を設定し支援を行っています
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1			・それぞれの課題を考慮し、得意な事を集団の中で活かせる様な計画を立てています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			・お互いに負担がかかりすぎない様な役割分担が出来ている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			・翌日のミーティングにて情報共有を行っています。 ・早急に対応が必要な内容は当日に検討会を開催している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1		・毎日支援内容を記録している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1		・定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをします。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	2				
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			・児発管、保育士、言語聴覚士が参加している		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	1		・学校よりメールにて情報を送信していただき学校行事の把握をしている。 ・学校お迎え時に口頭にて知られていただいている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3			・現在は医療ケアが必要な児童の受け入れなし。今後医療ケアが必要な児童の受け入れが決定した際に整える
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1	1		・今後強化していきたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		3	1	・現在までに対象児童なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	2		・今後検討していきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	2		・今後検討していきます
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		2	2		・今後検討していきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			・連絡帳等を使用し、連絡をしあい情報を共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3		・定期的に食育等の資料の配布を行っている。	・今後強化していきたい
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			・インテーク、契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		1	・その場で分かる事は丁寧に答え、分からない事は持ち帰り他の職員と話し合う環境ができています。 ・保護者との関わりが全く取れていない為、もっと関わりを取っていきたい。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			4		・今後検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	2			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1	1		・今後検討していきます。
	35	個人情報に十分注意している	4			・鍵付きのキャビネットに台帳を保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			・非言語コミュニケーションを用いている。	
非 常 時 等 の 対 応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	3		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3		1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	3		・半年に1回の避難訓練を行っている。	
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	1	2	・社外研修に参加しています。	・虐待防止法の周知の他、職員による虐待防止 検討会も実施していきたい。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	2	1	・身体拘束を行っていない為、計画書には未記載である。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	1	・協力医の指導の元、エピペン研修を行いアレルギーによるアナフィラキシーショックへの対応を学んだ。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			・発生時には迅速に作成し職員が回覧している。 検討会を行い再発防止に努めている。	